



学校だより

昇陽

校訓「昇る陽の如く」

Sho-yo

学校教育目標

学ぶ喜びを知る生徒

誠実な生き方ができる生徒

たくましい気力・体力を身に付けた生徒

第7号

発行日

令和5年

10月 2日

今こそ、特別活動の充実を

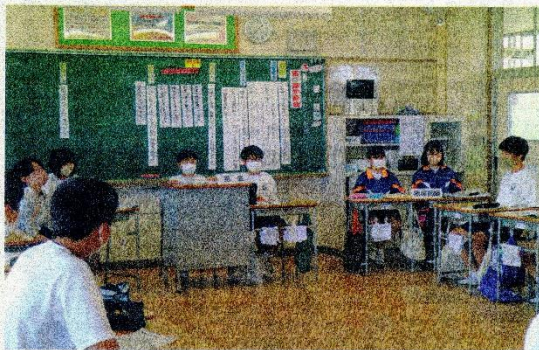
校長 寺井 進一郎

以前から、このたよりで何度か触れて参りましたが、本校は、令和4年度から埼玉県特別活動研究会、羽生市教育委員会及び羽生市教育研究会の委嘱、そして、令和5年度から文部科学省の委託により、特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）の研究を進めています。この度、7月12日（水）の文部科学省視学官の訪問当日の様子が、下記のとおり、日本教育新聞の記事として掲載されましたので御報告いたします。

学級会で合意形成を学ぶ

昨年同様、これまで特別活動で実施する機会が少なかつた「学級会」の実施を目標にした。それに向け、同校の研究主任が全教員に対して模範授業を交えた研修会を実施。講師として埼玉県特別活動研究会の樋口成久会長（当時）を招き、議題の例や学級活動委員の役割、話し合いを（案を）

役割分担、意見発表の方法を明確化



研究授業として特別活動の授業を公開した、1年3組の学級会の様子

表の手順やマグネットの活用などの仕組みづくりを工夫することでスムーズに進んだ。冒頭で、今回のクラス議題を提案した生徒が、その理由を述べた。授業中の私語や休み時間に廊下で騒ぐといった行動が見られるといったことを挙げた。学級会を中心とした内容は、生徒からの改善に向けた具休案についての話し合い。その中で、学級担任の鈴木桃子教師が、「まずはそのような条件で行うのか、はっきりさせよう」と、方向を導く場面もあった。

勉強を教え合う方法探る2年生 2年生のクラスでは学力向上を目指して教え合うといった目標を掲げ、議題は「学級会目標に近づけるための取組を考へよう」。生徒たちは、主に定期考査に向けての学習方法について話し合った。学級会では「勉強会を実施する」という意見に対し、「みんなが教え合うと勉強の効率が良い」という賛成の意見がある一方で、「放課後に自分で勉強したいからやりたくない」という反対意見も。それに対し、屋休みに実施するといった意見や、自由参加すればよいなど、合意形成を図る意見が出された。生徒の中には、提案した取り組みの多くに反対意見を示す子もいた。担任の

3年生は合唱大会の練習法 3年生は同校行事の集大成でもある合唱コンクールの練習計画を話し合った。練習前に発音練習を行う。給食の時間に課題曲を流す。パートごとに話し合う。次々と意見が述べられる中、賛成はピンク色、反対は青色に分類してマグネットが貼られた。「始める前は、ほとんどが同じ意見になってしまつたが、司会がうまく進めてくれた」と、担任の増田早苗教師は話した。

研究2年目となる本年度は特別活動の時間を生かして、日常生活での自己課題を解決する方法や、キャリア形成に関連した目標を考へるといった活動を推進している。

対話通じ課題解決を目指す

埼玉県羽生市立東中学校（寺井進一郎校長、生徒391人）では、特別活動の学級会で、生徒たちが対話を通して学級課題の解決を目指す取り組みを進めてきた。役割分担や意見の発表方法を明確にし、生徒の意見を掲げずマグネットなどの「学級会グッズ」を活用する。7月1日に公開した特別活動の様子を紹介する。

埼玉・羽生市立東中学校

昨年度から研究

同校は昨年度から埼玉県や市教委から指定を受け「個を生かし、主体的に生きる力を育む特別活動の推進をテーマ」に研究を行う。生徒は積極的に部活動に参加し、熱心に活動するといった長所がある。半面、学習面では、話す、聞く、書くといった言語活動に課題があり、授業での話し合いが深まらないことがあった。そこで、言語活動の充実により、学力の向上につながることを、部活動以外の学校生活でも「一人一人が自分のよさを発揮すること」を期待して取り組んでいる。

1年生の特別活動

生活の見直しを検討

議論の手順や意見を掲示、円滑に進行

日本教育新聞社

9月18日（第8面）から

（令和5年9月29日付で、日本教育新聞社編集局の記事転載許可を得ています）

昨今の学校現場において、特別活動は研究の対象となりづらい傾向にあります。情報化が進み、PCや携帯端末等の普及により、ネット上の間接体験が増え、人や自然、地域等との触れ合いなどの直接体験が不足しがちな子供達の生活状況があります。義務教育の仕上げ段階にある中学生には、是非にも変化の激しい社会において、自らの特性を発揮し、主体的に生きていく力を身に付けてもらいたいと考えております。記事のとおり、本校は、話し合い活動を重視し、発言や発表などを促進することで、他と協調しながら自己の主体性を育成することを主眼としております。

防災の日給食（非常食の体験） & 避難訓練（竜巻想定）

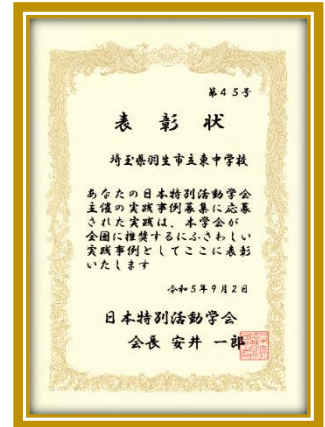


9月1日は「防災の日」です。今年、羽生市教育委員会・給食センターとの連携により、特別に「防災の日給食」として、賞味期限が近付いた災害時非常食のアルファ米（わかめごはん）を取って給食のメニューに位置付け、皆で午前中に水を入れてお昼に食しました。当日は、河田市長、秋本教育長が来校され、3年生とともに会食していただき

ました。午後には、引き続き「避難訓練」を行いました。今年度は竜巻を想定し、教室内での身の守り方を体験することをねらいとしました。

特別活動の研究「全国推奨事例」表彰

先に触れました本校の特別活動の研究が、全国の学者・有識者で組織する日本特別活動学会から、“全国に推奨するにふさわしい事例、として全国表彰を受けました。9月2日（土）に神戸松蔭女子学院大学にて行われた表彰式に校長が招かれ、表彰状をいただいて参りました。



資源回収（第1回）お世話になりました

9月2日（土）午前、PTA役員の皆様の御協力の下、本年度第1回の「資源回収」が行われました。この“コロナ禍”により3年の間、実施が見送られていましたが、昨年度末の3月から規模は小さいながらも、徐々に元の形を取り戻しつつ実施に漕ぎ着けております。御協力くださいましたPTA役員、保護者・地域の皆様に厚くお礼を申し上げます。

10月の行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	日		17	火	北埼玉地区駅伝大会
2	月		18	水	
3	火	全校朝会（校長講話）	19	木	市音楽会 生徒会役員任命式
4	水	生徒会役員選挙リハーサル	20	金	
5	木	生徒集会 合唱コンクール前日準備	21	土	
6	金	安全の日 合唱コンクール	22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	家庭学習充実・ふれあいデー 市長ふれあい訪問
9	月	スポーツの日	25	水	青少年健全育成地域フォーラム
10	火	生徒会役員選挙（立会演説会）	26	木	生徒集会
11	水		27	金	特別日課 三者面談
12	木	県秋季大会（陸上）	28	土	
13	金	↓ 第2回進路説明会（3年）	29	日	
14	土		30	月	特別日課 三者面談
15	日		31	火	特別日課 三者面談
16	月	B期時間割開始			

秋季総合体育大会 “新人戦、北埼玉地区大会” 結果		9月20日（水）、26日（火）～28日（木） 選手の健闘を称えます	
陸上競技 3000m 第4位：○○○○（県大会出場）	走幅跳び：○○○○（県大会出場）	走高跳び：○○○○（県大会出場）	男子200m：○○○○（県大会出場）
野球 第1位（県大会出場）	ソフトテニス（男子） 団体1回戦惜敗		
サッカー 1回戦惜敗	ソフトテニス（女子） 団体優勝（県大会出場）	個人第1位：○○○○・○○○○（県大会出場）	
バレーボール（女子） 第1位（県大会出場）	卓球（男子） 団体第3位（県大会出場）	個人第3位：○○○○（県大会出場）	
バスケットボール（男子） 2回戦惜敗	卓球（女子） 団体第3位（県大会出場）	個人第3位：○○○○（県大会出場）	
バスケットボール（女子） 第3位	剣道（男子） 団体第2位（県大会出場）		
柔道（男子） -60 kg級 第2位：○○○○	団体第3位：○○○○（県大会出場）	第5位：○○○○（県大会出場）	
硬式テニス 第2位：○○○○	剣道（女子） 個人2回戦惜敗		